

書店のための出版情報紙

Vol.28

BookLink

- 特集「リスキリング」「大人の学び直し」
- BookLinkPRO 書店員が選ぶ!
第3回「人気投票コンテスト」結果発表!

インタビュー

ジャパン・リスキリング・イニシアチブ 代表理事・後藤宗明氏

AI時代に求められる「リスキリング」
新しいスキルで組織、個人の未来を創る

AIと自動化が急速に進む時代に、「技術的失業」の不安が自分ごとになりつつある。その危機感を原点に、日本でいち早く「リスキリング」の必要性を訴え続けてきた後藤宗明氏。著書『リスキリング』シリーズは、ビジネス書として高い評価を受け、企業・自治体・個人へと読者層を広げている。社会的なニーズが高まるなか、本を通じて何を届けたいのか。書店への期待とともに話を聞いた。

—銀行、NYでの起業、外資系など多彩なキャリアを歩まれています、「リスキリング」に取り組むきっかけは。

転機は2014年、オックスフォード大学のマイケル・オズボーン教授らが発表した論文「The Future of Employment」を読んで、衝撃を受けました。「今後10年から20年の間に、米国の総雇用者の約47%の仕事が自動化され消失するリスクが高い」とありました。「働きたくても働けない人が増える自動化社会が来る」という問題意識が、私の中で一気にリアルになりました。

「技術的失業」(Technological unemployment)と呼ばれる「テクノロジーの導入で労働の自動化が加速し、人間の雇用が失われる」という社会的な課題を解決するには、まず自動化を進める側の論理を理解しないといけないと考えました。そこからデジタル・テクノロジー領域へのキャリアチェンジに本気で取り組み始めました。

16年に米国での国際会議に参加したとき、労働

者のスキルギャップを解消し、雇用を守りながら、DX(デジタル・トランスフォーメーション)などの組織変革を実現する手段として、「リスキリング」が政府や企業から注目されていることを初めて知りました。

当時、リスキリングは辞書にも載っていないような言葉でしたが、要するに「無くなっていく仕事から、新しく生まれる仕事へと移っていくために、新たな分野を学ぶこと」だと理解しました。それはまさに、「自分自身がいまデジタル・テクノロジー領域へと転換をはかっている行動自体が、リスキリングではないか」と気づいたんです。

その後、デジタル先進国におけるリスキリングの成功事例の調査や、関係者へのインタビューを行いながら、日本におけるリスキリングの導入に向けて活動してきました。21年4月、日本初のリスキリングに特化した非営利団体・一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブを設立。法人として活動を開始してから、今年3月でちょうど5年となります。

(2面に続く)

page
3

特集 「リスキリング」「大人の学び直し」関連本紹介

『リスキリング』『リスキリング【実践編】』『リスキリング【人材戦略編】』
(日本能率協会マネジメントセンター)

『見るだけでわかる!! 英語ピクト図鑑』

『今からでも遅くない! 60代からの英語学び直し術』(プレジデント社)

『あなたの一生を支える 世界最高峰の「学び」』(日経BP)

page
4

文化通信社 BookLink PRO 第3回「人気投票コンテスト」結果発表!





ジャパン・リスキリング・イニシアチブ 代表理事・後藤宗明氏に聞く

個人、組織、自治体… 関心高まるリスキリング 必読のシリーズ3冊を刊行

Interview

(1面から続き)

—日本にリスキリングを定着させる活動を、休まず続けてこられたんですね。

デジタル・テクノロジー領域にキャリアチェンジしようとした40代、転職活動しても100社以上に断られるという苦しい経験をしました。その経験があったからこそ、「技術的失業」が進む今後、多くの人たちが私と同じようなことになるのではないかとの思いを強くしました。同時に、リスキリングが社会に必要とされ始めていることも肌で感じてきました。リスキリングを広める活動は社会的意義が高く、大きな意味を持つという確信のようなものがありました。これが私のミッションだと、必要とされる限り休まず全力でやろうと決めました。

—著書『リスキリング』のシリーズ3冊について。

最初の著書『自分のスキルをアップデートし続ける リスキリング』(日本能率協会マネジメントセンター)は、「読者が選ぶビジネス書グランプリ2023」(フライヤーなど主催)のイノベーション部門賞を受賞しました。続編の『新しいスキルで自分の未来を創る リスキリング【実践編】』は、組織の中でリスキリングに取り組む従業員ら、キャリアアップを目指す個人に向けて書いています。そして昨年、シリーズの完結編として『AI時代の組織の未来を創るスキル改革 リスキリング【人材戦略編】』を出しました。

リスキリングとは、「新しいことを学び、新しいスキルを身につけ実践し、そして新しい業務や職業に就くこと」です。ですから、リスキリングは組織が成長分野へ移るため、従業員に仕事として取り組んでもらうことで、個人が就業時間外に取り組むような学び直し、とは違います。

海外で定着し、発展し続けているリスキリングへの取り組みや手法ですが、日本での導入は進まず、差は広がるばかりです。そのため、1冊目は概念を広く知ってもらうことをテーマに、企業・個人に向けた「リスキリングがわかる&実践できる本」としました。2冊目は、リスキリングを実践しようとしている個人・企業担当者・自治体担当者らに向けて、どのようにしたら実践できるようになるかをまとめた一冊です。

3冊目は、組織でどのようにリスキリングを進めていくべきかを書きました。経営者をはじめリーダー層、管理職、DXなど企業変革を担う部署、人材育成を推進する人事部などを中心に、自組織のリスキリング導入に向けて役立ててほしいです。

—本を出すことでリスキリングの意識は広がっていますか。

シリーズ3冊はそれぞれ、働く個人のビジネスパーソンにも活用してほしいです。と言うのも、リスキリン

グに関する講演会や取材を受けると、企業やメディアの方から「今日は会社として聞きましたが、自分自身の今後のキャリアが不安です。どのようにリスキリングしたらいいのでしょうか?」と頻りに相談されるからです。

また、ようやくですが、リスキリングに本気で取り組もうとしている企業や個人の変化も感じています。先日、HRテック業界の企業向けにクロードの講演会をしましたが、平日昼間にもかかわらず800人も参加しました。関西の大手企業での講演会にも事前申し込みが1100人に達するなど、いま多くの人たちがリスキリングに大きな関心を持っています。

リスキリングという言葉の認知度の差はありますが、働いている人たちが「働きたくても働けない人が増える自動化社会がそこまで来ている」「自分の仕事が自動化で危ない」と、本気で思い始めているのではないのでしょうか。以前、言葉で聞いたリスキリングが「いよいよ自分ごとになってきた」というタイミングですので、あらためてこの本を手取る人たちも増えるでしょう。

—そういった社会的なニーズがある中で、この本を手取れる書店の存在は重要ですね。

私自身も「日経ロンジェビティブプロジェクト」や「いばらきリスキリングプロジェクト」にメンバーとして参画していたり、最近もネットメディアで石丸伸二さんと対談したり、メディアの露出が増えています。

これらも少子高齢化社会に対応した新しい働き方について、多くの人たちが関心を持っている証左です。何かのきっかけでリスキリングに興味を持ち、関連する本を見つけようと、書店に足を運ぶ人もいるでしょう。

高まっている社会の課題について、以前から問題意識を持っている書店さんもあります。1冊目を出したとき、うれしかった出来事がありました。大手書店チェーンの沖縄にあるお店ですが、発行後すぐワゴン展開してくれたんです。SNSで見て感動し、そのお店まで会いに行きました。なぜ沖縄でこの本を推してくれたのか聞くと、「沖縄は最低賃金の水準も低く、働き方を変えないと給料も上がらない。だからリスキリングは重要だと思った」と話してくれました。

その書店では著者イベントもさせていただきましたが、そういった問題意識と目利きとしてのセンスを持つ書店員さんがいることに、目から鱗が落ちる思いでした。リアルな書店には、本との偶然の出会い(セレンディピティ)や、書店員のキュレーション、トークイベントなど人が集う場所になれるという価値があります。その強みをさらに生かしてほしいです。

—ありがとうございました。

後藤宗明 (ごとう・むねあき) 氏

早稲田大学政治経済学部卒業後、1995年に富士銀行(現みずほ銀行)入行。2001年ニューヨーク移住、02年グローバル人材育成を行うスタートアップを起業。08年に帰国し、11年に米国の社会起業家支援NPOアショカの日本法人設立に尽力。米国フィンテック企業の日本法人代表、通信ベンチャーの国際部門取締役を経て、アクセントチャで人事領域のDXと採用戦略を担当。19年AIスタートアップのABEJAで事業開発、AI研修の企画運営、シリコンバレー拠点を設立。20年、自らを「リスキリング」した経験をもとに、リクルートワークス研究所で「リスキリング〜デジタル時代の人材戦略〜」「リスキリングする組織」を共同執筆。21年、一般社団法人ジャパン・リスキリング・イニシアチブ設立。22年、リスキリングプラットフォームSkyHive Technologiesの日本代表に就任。主な著書に『自分のスキルをアップデートし続ける リスキリング』(日本能率協会マネジメントセンター)、『中高年リスキリング これからも必要とされる働き方を手にいれる』(朝日新書)。

日本能率協会マネジメントセンター

『リスキリング』『リスキリング【実践編】』『リスキリング【人材戦略編】』著:後藤宗明

学び直しで未来を変える! 完全版リスキリング三部作

「基礎」「実践編」「人材戦略編」の3冊で、個人から企業・自治体まで“学び直し”をフルサポート。第1弾ではリスキリング概念とDX時代の潮流を理解。第2弾で目標設定・学習計画・キャリア移行まで具体的な行動に落とし込み。最新刊の第3弾では、組織が成果を上げる仕組み設計やロジシティ・スキルの取り入れ方を解説します。採用コストを抑えたい経営陣、スキルギャップに悩む人事、そして未来を切り拓きたいビジネスパーソン必携の三部作。リーディングリストやオンライン講座の選び方、学習を継続させるマインドセットの整え方も網羅。巻末チェックリストで進捗をセルフ診断できるので、ひとりでも、チームでもすぐに活用できます。変化が激しい今こそ、知識を武器にキャリアと事業を再設計しましょう。



□四六判/336頁/定価2035円(税込) ISBN9784800590473



□四六判/320頁/定価2035円(税込) ISBN9784800591401



□四六判/312頁/定価2420円(税込) ISBN9784800593436



プレジデント社

『見るだけでわかる!! 英語ピクト図鑑』

著:マーク(村木幸司)

ピクトグラムで直感的に英語がわかる!!



英語の基本ぐらいわかっているつもりなのに、英語で会話ができない、何から勉強したらいいかわからない、TOEICで点数がとれない……。このように感じている“英語難民”に向けた、見るだけで直感的に英語が理解できる英語学習本。SNSで話題のピクトグラムを使った図解でわかりやすく解説。

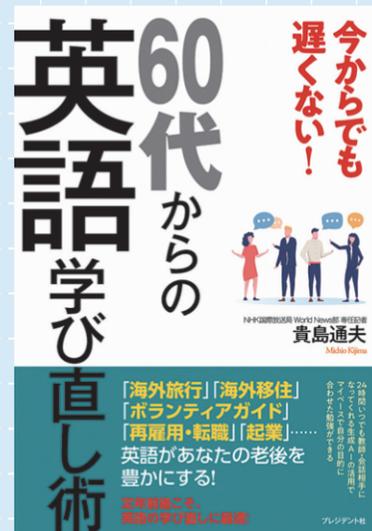
□A5判/224頁/定価1760円(税込) ISBN9784833425599



『今からでも遅くない! 60代からの英語学び直し術』

著:貴島通夫

定年前後こそ、英語の学び直しに最適!



定年後は、実は英語をやり直す絶好のタイミングです。中学・高校で学んだ基礎は、思っている以上にあなたの中に残っています。そこに生成AIという心強い味方を加えれば、英語はぐっと身近で楽しいものになります。本書は、60代からでも無理なく始められる具体的なコツをやさしく紹介。英語を通して、リタイア後の新しい出会いや挑戦が広がる毎日へと背中を押してくれる一冊です。

□四六判/264頁/定価1760円(税込) ISBN9784833425469



日経 BP

『あなたの一生を支える 世界最高峰の「学び」』

著:飯田史也

ケンブリッジ大学が 800年かけて築いた 勉強法を知ろう

「学び」という問題を、800年間に渡り考え抜いた組織、それがケンブリッジ大学です。

ケンブリッジ大学は、今も世界に人材を輩出し続けています。このしきみをルーチンワークに組み込めば、「学びの奇跡」を起こせます。その学びのキーワードは「コミュニケーション」です。ひとりで机に向かってすることは、学びのサイクルの一部にしすぎません。本質的な学びとは何かを知りましょう。

□四六判/264頁/定価1980円(税込) ISBN9784296002283



著名人が選んだ本と向き合う 静けさの100分 「ほんのもり 駒込本家」

1960年に建てられた個人宅の離れを改装し、静けさと温もりをたたえた小さな図書室をつくりました。

ご利用は事前予約制。1日3回の入れ替え制(各回100分)。 珈琲(またはお茶、お水)1杯をご提供します。

◆ 利用時間 11:00~12:40 / 13:00~14:40 / 15:00~16:40(不定休) 火曜日、木曜日「寡黙(火木)に本を読む夜」18:30~20:10

◆ 18歳以上1,980円(税込) 中学生 1,000円 小学生以下 500円

◇ 平日は18歳以上の方が、土・日・祝はどなたでもご利用いただけます。



所在地:東京都豊島区駒込1丁目30番地13号

お申し込みは WEB から 運営:株式会社文化通信社



https://honnoie.jp 駒込本家

書店員が選ぶ!

文化通信社 BookLinkPRO

第3回「人気投票コンテスト」結果発表!

文化通信社が運営する出版情報プラットフォーム「BookLinkPRO」はこのほど、書店アカウントを持つ約2000人の書店員らが、出版社が投稿している新刊・既刊の注文書、重版情報、印刷用POPデータなどの販促情報の中から、お気に入り投票する第3回「人気投票コンテスト」を開催し、その結果を発表した。投票した書店員らの中から、抽選で10名に図書カードNEXT3000円分をプレゼントする。

PHP研究所、三笠書房、中央公論新社が得票数1~3位

投稿している出版社の中で、書店員らからの得票数が最も多かったのはPHP研究所だった。次いで、三笠書房、中央公論新社、あさ出版、フレーベル館、光文社、マックガーデン、誠文堂新光社、日経BPマーケティング、パイ インターナショナルが上位に入った。

チラシ、POPの上位3社も発表

また、チラシ別ランキング(上位3社)は中央公論新社の「中公新書『福音派』」、誠文堂新光社の「海苔弁31」、フレーベル館の「しーっ!」ノベルティシール付 専用チラシが選ばれた(右)。

新たに設けたPOP別ランキング(上位3社)は、PHP研究所の「ハヤディール戀記」、PHP研究所の「飼い犬に腹を噛まれる」、フレーベル館の「アンパンマン ミラーブック」だった(下)。

チラシ 1位

中央公論新社『福音派』



「重版規模、合計何刷かが分かるので参考にしやすい。拡材の可否もありがたい」

チラシ 2位



誠文堂新光社『海苔弁31』

「タイトルと表紙を大きく載せたシンプルな注文書だが、海苔弁が美味しそうで目を引いた。この表紙ならお客様の目にも止まって、手に取っていただけるのではと思える注文書」

チラシ 3位



フレーベル館『しーっ!』

「色のバランスが良い。ノベルティがわかりやすい」「目につきやすい配色と、配置がよい」

POP 1位

PHP研究所 『ハヤディール戀記』



「このPOPを飾るだけで、売り場が華やかになる」

POP 2位

PHP研究所 『飼い犬に腹を噛まれる』



「かるたになっているところがとてもかわいい。色もかわいいし良い」

POP 3位

フレーベル館 『アンパンマン ミラーブック』



「写真がパッとみて分かりやすい」「本の形状がよくわかる」

コンテストでは、投票に合わせて評価するポイントなどのコメントも聞いている。

出版社別の上位3社が発信している新刊・既刊の注文書、重版情報、印刷用POPデータなどの販促情報について、高評価のコメントは右記の通り。

- 1位 PHP研究所**
 - POPも載っていて内容が分かりやすい
 - 仕掛けオススメは売り場づくりの参考になる
 - 欲しい時期の商品が一目でわかる。書籍の表紙も載っているのよい
 - 基本のレイアウトが固まっているので見やすくよい
 - 当初初回配本なくご案内が助かる
 - シンプルで書影とオススメワードが目立ってよい
- 2位 三笠書房**
 - 売れ筋一覧書は棚のメンテナンスに有効なので助かっている
 - ランキング形式でより見たくなる
 - 新聞のように毎週変わらず届く注文書、1枚で俯瞰できるのもポイント
 - 新聞広告の文字が一目でわかりやすい
- 3位 中央公論新社**
 - 話題のニュースに関連した書籍のお勧めを素早く配信してくれている
 - NHK『100分de名著』と併売して売り伸ばすことができた
 - タイトルと新聞広告の掲載の日付が大きく載っておりPC画面でチラシを確認する際見やすい
 - 拡材も同時に注文できる

BookLinkPRO は新刊・重版情報やパブリシティなど、出版社の販促情報を一覧化したプラットフォームです。毎日のようにFAXで送られてくるチラシがパソコンやスマートフォンに配信されるので、新着情報も見逃すことがなくなります。書店・図書館の登録・利用は無料です。

お申し込みはQRコードまたはサイトから!

BookLink PRO

URL⇒<https://book-link.jp/media/booklinkpro>